

中村欣一郎市長の

山椒は小粒でも...

Vol.64
ゲストハウスって
知っていますか？



2回の火災で左側の87店舗が焼けた旦過市場

宿泊施設というと、まずホテル、旅館、民宿などがあります。今ならちよつと豪華にキャンプ気分を楽しめるグランピングなどが人気です。では、ゲストハウスはどんなところかというと、相部屋(ドミトリー)であったり、トイレ、洗面、お風呂が共用のところが多いようです。歯ブラシ、タオルなどのアメニティの類もなくしてサービスを最小限にすることで、料金を安く提供しています。

北九州の小倉に泊まったときのことで。雑居ビルの4階フロアをまるごとリノベーションした、業界ではちよつと名の知れたゲストハウスに宿泊しました。タンガテールといい、名前の由来は、川を挟んだ向かいにある「旦過市場」です。200以上が軒を連ね北九州の台所と言われる大きな市場です。残念なことに昨年4月に42店舗、8月に45店舗を焼失する大火災が発生し、全国一ユースで何度も流れました。

れだけが部屋の設備のすべてです。テレビはもちろん冷蔵庫も時計も電話もティッシュも鏡もコップもなく、前述したようにトイレ、洗面、シャワーが共用。徹底しています。

そもそもゲストハウスは部屋で一人でくつろぐことを目的としておらず、必然的に飲食や買い物のためにまちに出ます。また、ロビーなどの共用スペースが魅力的につくられており、そこでのゲスト同士の交流を自当てに泊まる旅行者も多いようです。いやはや最近の旅のスタイルや楽しみ方はまったく測りかねます。

この交流スペースでは愛知出身の青年が働いています。鳥羽から来たと話したら「前から伊勢志摩でゲストハウスをしたいと思っていたんですよ」とのこと。翌朝、名刺に一言書き添えてフロントに置いてきたからきつと彼は来るはず！



ホテル入口



Vol.219
教育委員会生涯学習課
☎ 1268

「多様性と社会的包摂」 誰一人取り残さない

社会の実現

「多様性(ダイバーシティ)」とともに「社会的包摂(ソーシャル・インクルージョン)」という言葉を見たり聞いたりします。

「多様性」という言葉は、私たち一人ひとりが体の特徴や年齢、国籍、文化的背景、性的指向、性自認など、人権にかかわるさまざまな立場を持つ多様な存在であることを意味します。

「社会的包摂」という言葉は、2000年、当時の厚生省の報告書の中で、「すべての人々を孤独や孤立、排除や摩擦から援護し、健康で文化的な生活の実現につなげるよう、社会の構成員として包み支え合う」とことと説明されています。

この考えは、持続可能な開発目標(SDGs)の基本理念である「誰一人取り残さない」という考え方のものです。

この二つの言葉は、共に使われることが多くあります。歴史的には、「多様性」が先に認知され広まりましたが、それだけでは不十分で解決されない課題が明らかになり、「社会的包摂」という考え方が取り入れられてきました。多様性を認めるだけでなく、その違いを尊重し、それぞれの個性を活かして輝き合える社会にしていこうということです。そして、すべての人々が生まれながらに持つ権利を十分に主張できる社会を作っていくことが「社会的包摂」の考え方です。

2022年度の人権啓発ポスターでは、次のように呼びかけています。

『見ため、年齢、性別、生まれたところ、そんなことで決められたくない』

わたしは **ありのまま**

こいで生きたい

みんなで声を上げよう

誰一人取り残されない水平な社会の実現に向けて『三重県・三重県教育委員会・三重県人権啓発ネットワーク協議会』